

あったか通信 5月号

～であいの会話から～



当園は4月9日（土）に入園式を迎え、翌月曜日には進級式があり、総勢243名の園児が毎日元気に過ごしています。さて、桜の花も散り始めた頃、給食前の時間にクラスの様子をのぞいてみたところ、園長の姿を見つけて、

A児 「園長先生！！」といいながら駆け寄ってきた。

園長 「これから、給食だね。（ところが喉の具合が悪く声がかすれている）」

A児 「なんで声でないの？」

B児 「かわいそうに・・・」

C児 「どうしたの？」

B児 「お寺のお経のやりすぎちゃうかなあ？」

A, C児 「あ、そうか。 そうか」

C児 「大事にしいや。」

園長 なぐさめられて苦笑。進級して心も体もひとまわり大きくなり、他者に対してのやさしい心づかいとともに園生活に対する自信感もうかがえました。

園長 「1階のお部屋になってどうや？」

5歳児 「楽しい！！だってほら見て、（と外を指さし）すぐ外に出て遊べるもん。」

園児とのふれあいが園長の喜びとなり、日々を励まされています。
東本願寺に次のような標語がかけられています。

「感じますか？ いのちのぬくもり」

この会話はまさにそのような思いを感じさせてくれます。
皆さんの日常にもそのようなひと時があるのではないのでしょうか？
そのひとときを大事にしましょうね。

